



～戮力協心～ NO.47

2023年5月25日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

復帰51年！5.15沖縄平和研修開催！ その1

5月12日～15日にかけて、貨物労組青年部は「復帰51年！5.15沖縄平和研修」を開催しました。本来なら「5.15沖縄平和行進」として、共に平和を呼びかける予定でしたが、新型コロナの影響で参加規模が縮小され、平和研修へと切り替えることとなりました。

全国からの参加者11名と共に、20余万人もの民間人が犠牲になった沖縄戦と、今に続く沖縄の米軍基地問題について、多くの戦跡と資料館を見学し、学びました。

○ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

沖縄戦で亡くなった“ひめゆり学徒隊”を慰霊する碑で、ひめゆり平和祈念資料館が隣接しています。ひめゆりの生徒たちの沖縄戦以前の学校生活、沖縄戦で陸軍病院に動員され命懸けでの活動、そして、いかに凄惨な最期を迎えたか。生存者の証言や、犠牲になった生徒たちの顔写真が展示され、戦争の非惨さをありのまま伝えていきます。



○系数アブラガマ

沖縄戦で住民が避難し、日本軍が施設として使用していた、長さ約270メートルの天然の洞窟（ガマ）です。約600名の負傷兵が運び込まれましたが、戦況の激化で南部へ撤退する際に、重症患者が数多く置き去りにされました。ガマの中は日光が届かず、助かる見込みもありません。ケガで自由に体も動かさず、負傷した仲間とうめき声を聞きながら、暗闇の中、水も飲むことができない苦しみを想像すると、改めて戦争の悲惨さを感じました。

